

大阪企業家ミュージアム

企業家105人の志と勇気、英知を伝える

企業家の名言が一堂に

4月2日から 91点を特別展示

大阪企業家ミュージアムは、五代友厚をはじめ、明治時代以降、大阪を活躍した企業家105人の事績と企業家精神を、ネルとゆかりの品で紹介する全国でも珍しい施設。来館者からは「関西の名だたる企業家の歴史を学ぶことができた」「創業者の感性や行動力に触れることができ、自分自身の啓発にもつながった」「経営者も起業を目指す者には必見の施設だ」といった声が寄せられている。



大阪企業家ミュージアム 大阪商工会議所創立120周年(1998年)を記念し、2001年に開設。
【所在地】大阪府中央区本町1-4-5 大阪産業創造館 地下1階【入館料】
会員200円、一般300円【開館時間】午前10時～午後5時、入館は閉館30分前まで
【休館日】日曜、月曜、祝休日、年末年始、夏期休館日【問合せ】☎4964・7601

五代友厚関係文書 6点新たに公開

大阪商工会議所は、初代会頭の五代友厚が大阪府知事や大久保通和、岩倉一と幕末・明治の政府や財界人と交わった書簡や事業にかかわる書類など、約6千点を「五代友厚関係文書」として所蔵している。

大阪企業家ミュージアム創立20周年を記念して2021年度から、同文書の一部をウェブ上に順次公開しており、このほど新たに6点を追加した。五代友厚をはじめとする、明治期の経済史研究に活用を。

展示企業家にゆかりの企業担当者ら懇談

大阪企業家ミュージアムは2月22日、同館に展示されている企業家の関係者や関係者との懇談会を開催し、展示企業家の関係者らと懇談した。展示企業家の関係者らと懇談した。展示企業家の関係者らと懇談した。

従業員向け見学会が好評

大阪企業家ミュージアムは、従業員向け見学会を開催し、好評です。展示企業家の関係者らと懇談した。

新人社員の研修でも活用

大阪企業家ミュージアムは、新人社員研修でも活用されています。展示企業家の関係者らと懇談した。



特別展示する企業家の一例

「保護ねこカフェ」の運営者、岩下裕加里氏。保護猫と里親をマッチングする場を提供するために開店した「保護ねこカフェneu」。

企業家の志に触れる好機

象印マホービン、クラブコスメチックス、東洋紡、コーポレートコミュニケーション、三谷直子さん。

2月に東京で開催された「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2024」に大阪商工会議所会員の菓子メーカーの新興製菓とみどり製菓が出展した。大阪発のユニークな商品が注目を集め、多くのバイヤーが商社のブースを訪れた。

大商事業活用企業が大規模見本市に出展



新興製菓は、地元企業と連携し未利用魚を使ったお茶漬けケーキを開発。パッケージには説明...

大阪発ユニークな菓子にバイヤー注目

「保護ねこカフェ」の運営者、岩下裕加里氏。保護猫と里親をマッチングする場を提供するために開店した「保護ねこカフェneu」。

大商のがんばる会員さんを紹介!

火鍋三田 成都(北区、村井正人代表、https://www.hinabemita.com)は2018年に本場中国から取り寄せた、漢方でも使われる厳選された薬膳香辛料を使った本格火鍋料理店を帝国ホテル大阪近くにオープン。

保護ねこカフェを運営するボボラス、ヴィーガンコスメを開発

野良猫の保護活動を行う岩下裕加里氏が、保護猫と里親をマッチングする場を提供するために開店した「保護ねこカフェneu」。

STOP! 20歳未満飲酒

水と生きる SUNTORY

いい日、プレモル。

天然水生ビール
SUNTORY
ザ・プレミアム・モルツ

“日本一” 明るい企業情報

企画・制作 / 日本一明るい経済新聞 TEL. 06-6445-7405 <http://www.akaruinews.com>

「大阪の中小企業を応援したい」との思いから当企画では、大阪の元気な中小企業を取材し、その経営のコツを紹介します。なお、当企画は、大阪商工会議所と、中小企業の明るいニュースを掲載している「日本一」明るい経済新聞が共同で行っています。

元気パワー!

大一電機(☎06・6981・0307)は、日本人と外国人が一体となったモノづくりに取り組む。ロウ付け加工など職人の技は、外国人社員にも伝承、風通しの良い製造現場で品質向上を実現する。

大阪市東成区玉津2丁目に本社工場、その周辺に第2、第3工場を持ち、ロウ付け加工、銅加工、ブレイク修理、その他材料調達を含む各種サービスを行う。創業は1958年。

「工場では年代物の機械設備を使っているところも多く、廃番になった部品をつくらせたいと全国から引き合いがきます」と、紺谷彰良社長。職人技の技術を生かし、機械設備の再生を支援する。

分りやすく 技術指導



最近では事業再構築補助金を活用し、医療・福祉関連で抗菌性の高い抗ウイルスゴムを部材にした立ち上がり補助具など、高齢者向けの商品にも取り組む。従業員は約30人。うち製造現場は約20人で18歳から80歳のベテラン職人と幅広い。その中にはブラジル人9人、ベトナム人6人、ミャンマー人2人と外国人の正社員が多い。「当初は生活文化の違いなどで戸惑いでしたが、コミュニケーションを回り、風通しの良い現場を実現しました」と、紺谷美那子専務。従来の見て覚えるから、写真を多用したマニュアルを作成、外国人にも分かりやすく技術指導する。

最近では、若い日本人社員にもこのマニュアルが役立つという。外国人は営業でもお客様の印象が良く好評で、外国人社員が元気経営のパワーになっている。

くるぞ、万博。 大阪・関西万博 2025年4月13日～10月13日 前売チケット 販売中

安全・安心のイーグルイズム

イーグルクラブ(☎06・6476・8150)は、重量物を鷲のようにしっかりとつかみ、確実に運ぶ吊り具メーカー。テクニカル・エンジニアがユーザーを巡回点検する一方、ICチップ、携帯タブレットなどを活用し、人とDXで安全・安心のイーグルイズムを徹底追求する。

正しい使い方 の出張講習会の実施や使い方マニュアルDVDの無料貸し出し。安全対策の動画情報などSNSでの発信も行う。

大阪市北区中之島に本社、奈良県生駒市に製造部門の奈良事業所、全国12カ所に営業所を置く。「作業者の安全を守り生産の向上に貢献する」とい

「お客様が望まれても、安全が担保できないモノは作らないし、売れません。ユーザーに安全意識を高めてもらい購入につなげたい」と、安全力をアピール。今後は、培った安全対策のノウハウを生かして新規事業にも挑戦したい計画だ。

大阪市の安全・安心デジタル化社訓を大切に経営を進める。その一つが、全国に配置した40人以上のテクニカル・エンジニアの活躍だ。クラブ購入ユーザーを登録し、定期的に訪問して、無料で点検。点検済みシールを貼り、記録を残す。お客様の要望があればその場で修理を行う。作業現場で安全面に問題がないかをテクニカル・エンジニアが細心の注意を払う。「点検で修理の必要性や買い替え時期などをお伝えし、安全な使い方を提案します」と、津山信治社長(写真右)。

「お客様が望まれても、安全が担保できないモノは作らないし、売れません。ユーザーに安全意識を高めてもらい購入につなげたい」と、安全力をアピール。今後は、培った安全対策のノウハウを生かして新規事業にも挑戦したい計画だ。

家族一丸でキッチンカー

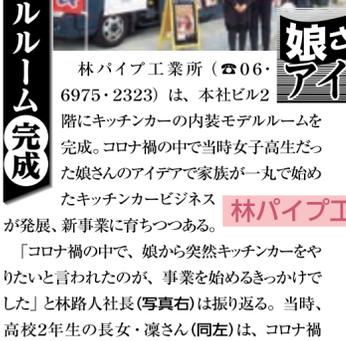
林パイ工業所(☎06・6975・2323)は、本社ビル2階にキッチンカーの内装モデルルームを完成。コロナ禍の中で当時女子高生だった娘さんのアイデアで家族が一丸で始めたキッチンカービジネスが*発展、新事業に育ちつつある。

「コロナ禍の中で、娘から突然キッチンカーをやりたいと言われたのが、事業を始めるきっかけでした」と林路人社長(写真右)は振り返る。当時、高校2年生の長女・凜さん(同左)は、コロナ禍

で学校にも行けず、以前からのキッチンカー起業の夢を父にぶつけた。凜さんが、キッチンカー事業のプロデューサーとなり、父の林社長と不動産会社社長の母、そして当時中学3年生の弟も加わり、キッチンカービジネスに協力。自社のパイプ加工技術、社長の自動車整備の経験を生かし、キッチンカーを独自に製造した。

凜さんプロデュースのキッチンカーを開店。弟さんが料理メニューを開発、ローストビーフ丼、キーマカレー、唐揚げなどを販売。本社工場前や御堂筋のオフィス街でも営業、人気を集めた。

キッチンカーの可能性に気づいた林社長は、事業再構築補助金を活用し、キッチンカービジネスに本格参入。客、運営のコンサル事業にも取り組む。セミナーでは、現場の経験をベースに凜さんが講師になる。完成したモデルルームは33平方メートル。日本製鉄製の高級感のある落ち着いた雰囲気でも早くも評判を呼んでいる。



「コロナ禍の中で、娘から突然キッチンカーをやりたいと言われたのが、事業を始めるきっかけでした」と林路人社長(写真右)は振り返る。当時、高校2年生の長女・凜さん(同左)は、コロナ禍

4万種類!

フィル(☎06・6537・7121)は、壁紙業者を通さずに消費者と直結した壁紙販売を行う。デザイン性のある欧米製、貼ってはがせる自社商品を含めて4万種類を品ぞろえ、リアル店舗とWEBで販売、元気な壁紙ビジネスを展開する。

大阪府大正区小林西1丁目本社事務所を置く。その1階には「リアル店舗とWEB販売」種類を誇る。最近では自社独自の壁紙「Hattan」が注目。水に濡らすだけで壁には簡単に貼り外しができ人気を集める。「海外市場にも力を入れたい」と、シンガポールのWEBサイトを拠点に今後周辺諸国へ壁紙販売を本格展開したい考えた。

一方、WEBサイトでは「壁紙屋本舗」[walpa.jp]を展開。国産壁紙、ドイツ、フランスなど世界の壁紙をブランド、スタイル、色、柄などから選択。部屋の写真をスマホで送ると仮想で確認。1か月で100万人が集まる人気サイトで、壁紙ビジネスに革命を起こしている。「内装工事の壁紙職人でした。消費者が自分で壁紙を気軽に貼れるのもっと面白いものになると思いました」と、濱本廣一社長(写真)。

2000年に創業し、一般消費者向けの壁紙ネットショップをスタート。消費者の声を参考に欧米から直輸入、今では在庫で1000種類、取り寄せ含め4万種類を誇る。最近では自社独自の壁紙「Hattan」が注目。水に濡らすだけで壁には簡単に貼り外しができ人気を集める。「海外市場にも力を入れたい」と、シンガポールのWEBサイトを拠点に今後周辺諸国へ壁紙販売を本格展開したい考えた。

“塗料のヒーロー”に!

斎藤塗料(☎06・6301・4631)は、独自開発した伸縮する柔軟性塗料「ウレヒーロー」が話題を集めている。スリップ性、透過性、撥水性などの特色を武器に、量産化に乗り出しており、「塗料のヒーロー」になろうとしている。

創業は1927年。現在は大阪府淀川区三津屋北3丁目本社工場を置き、家電製品などに使われる下地塗料(プライマー)を主に製造する。マグネシウムの下地塗料「サイクロン」など特殊な塗料も開発する。「産業界で当社の技術力が高く評価されています」と、斎藤由美子社長(写真中)。従業員は約40人で年商は約10億円。最近、産業界から熱い視線を浴びているのが「ウレヒーロー」だ。

特殊なウレタン樹脂を原料にし、ゴム用のコーティング剤として開発。「技術部の池田宏文さん(同左)が開発、ヒーローは名前から付けました。展示会に出展すると大反響になりました」と、音形浩志取締役(同右)。

ゴムやスポンジ素材にも対応、色あせしない、ベタつきのない高いスリップ性を誇る。このほか、着色可能、耐衝撃性、透明性を持ち、プラスチック・金属・ガラスと多種の素材に密着するなど多彩な特色を持つ。引き合いが増え、サンプル供給を進めている。スポーツ用のボールとして量産化を開始したほか、ゴム手袋を金銀手袋に着色するなど、ホビー用の市場からも注目されており、年間5000万円の売り上げを見込んでいる。

大商ニュース 抜粋版 「大商ニュース」抜粋版は、大商のホームページからご覧いただけます。 <https://www.osaka.cci.or.jp/index3-07.html> 問合せ 編集担当 ☎6944・6324

全国の商工会議所が運営している 2025大阪・関西万博関連調達マッチング 特設サイト <https://www.b-mall.ne.jp/bampaku/> BM 万博商談

不二製油 見えないところに、おいしさの秘密。 不二製油は食の素材の可能性を追求し、さらなる驚きのおいしさに変える製品づくりに挑戦します。

新薬をつくる。 未来をつくっている。 希望や、笑顔、なんでもない日や、小さな幸せ。新薬をつくることで、沢山のかけがえのない未来をつくり出す。それが、私たち小野薬品の仕事です。

Only Ono 小野にしかできない挑戦がある。 ONO 小野薬品工業株式会社